

普通會計財務書類4表 (資金収支計算書)

資金収支計算書

〔 自 平成21年4月 1日 〕
〔 至 平成22年3月31日 〕

(単位:千円)

1 経常的収支の部	
人件費	15,740,907
物件費	10,827,560
社会保障給付	16,559,400
補助金等	7,621,295
支払利息	979,201
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	5,991,838
その他支出	931,719
支出合計	58,651,920
地方税	44,362,613
地方交付税	228,629
国県補助金等	17,613,354
使用料・手数料	2,038,997
分担金・負担金・寄附金	844,836
諸収入	1,239,198
地方債発行額	3,038,400
基金取崩額	52,310
その他収入	4,470,435
収入合計	73,888,772
経常的収支額	15,236,852

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	4,735,514
公共資産整備補助金等支出	391,835
他会計等への建設費充当財源繰出支出	38,189
支出合計	5,165,538
国県補助金等	1,148,256
地方債発行額	3,576,100
基金取崩額	480,000
その他収入	18,814
収入合計	5,223,170
公共資産整備収支額	57,632

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	0
貸付金	350,000
基金積立額	843,660
定額運用基金への繰出支出	0
他会計等への公債費充当財源繰出支出	3,787,201
地方債償還額	5,327,189
長期未払金支払支出	5,532,783
支出合計	15,840,833
国県補助金等	58,540
貸付金回収額	350,000
基金取崩額	0
地方債発行額	0
公共資産等売却収入	71,237
その他収入	25,949
収入合計	505,726
投資・財務的収支額	15,335,107

翌年度繰上充用金増減額	0
当年度歳計現金増減額	40,623
期首歳計現金残高	1,178,691
期末歳計現金残高	1,138,068

1 一時借入金に関する情報

資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。
平成21年度における一時借入金の借入限度額は4,000,000千円です。
支払利息のうち、一時借入金利息は0千円です。

2 基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

収入総額	79,617,668 千円
地方債発行額	6,614,500
財政調整基金等取崩額	0
支出総額	79,658,291
地方債元利償還額	6,261,650
財政調整基金等積立額	468,500
基礎的財政収支	<u>75,027 千円</u>

資金収支計算書(市民1人あたり)

〔 自 平成21年4月 1日
至 平成22年3月31日 〕

(単位:円)

1 経常的収支の部	
人件費	58,092
物件費	39,959
社会保障給付	61,113
補助金等	28,126
支払利息	3,614
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	22,113
その他支出	3,439
支出合計	216,456
地方税	163,721
地方交付税	844
国県補助金等	65,002
使用料・手数料	7,525
分担金・負担金・寄附金	3,118
諸収入	4,573
地方債発行額	11,213
基金取崩額	193
その他収入	16,498
収入合計	272,688
経常的収支額	56,232

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	17,476
公共資産整備補助金等支出	1,446
他会計等への建設費充当財源繰出支出	141
支出合計	19,063
国県補助金等	4,238
地方債発行額	13,198
基金取崩額	1,771
その他収入	69
収入合計	19,276
公共資産整備収支額	213

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	0
貸付金	1,292
基金積立額	3,114
定額運用基金への繰出支出	0
他会計等への公債費充当財源繰出支出	13,977
地方債償還額	19,660
長期未払金支払支出	20,419
支出合計	58,461
国県補助金等	216
貸付金回収額	1,292
基金取崩額	0
地方債発行額	0
公共資産等売却収入	263
その他収入	96
収入合計	1,866
投資・財務的収支額	56,594

翌年度繰上充用金増減額	0
当年度歳計現金増減額	150
期首歳計現金残高	4,350
期末歳計現金残高	4,200

平成22年3月末住民基本台帳人口 270,965人

資金収支計算書

資金収支計算書とは…

資金収支計算書は、歳計現金（資金）の流れをみたもので、「経常的収支の部」「公共資産整備収支の部」「投資・財務的収支の部」の3つの区分に分けることにより、行政活動別の資金収支を表しています。

資金収支計算書は、民間企業等でのキャッシュフロー計算書にあたります。

《経常収支の部》

（経常的支出）

人件費や物件費、社会保障給付、補助金等、支払利息、他会計等への事務費等充当財源繰出など、日常の行政サービスを行うにあたって必要な費用で587億円となっています。

（経常的収入）

地方税や国府補助金、使用料・手数料、市債発行額、基金取崩額など日常の行政サービスを行うための支出を賄う収入で739億円となっています。

この結果、経常的収支額152億円が地方債償還などの「投資・財務的収支の部」の財源不足を補てんしたことになります。

《公共資産整備収支の部》

（支出）

公共資産の整備のための支出や、他団体の資産形成に対しての補助金、他会計等への建設費充当財源繰出支出で52億円となっています。

（収入）

公共資産整備支出の財源となった国府補助金や、市債発行額、基金取崩額などで52億円となっています。

《投資・財務的収支の部》

(支出)

貸付金や基金積立、他会計等への公債費充当財源繰出支出、市債償還額などで158億円となっています。

(歳入)

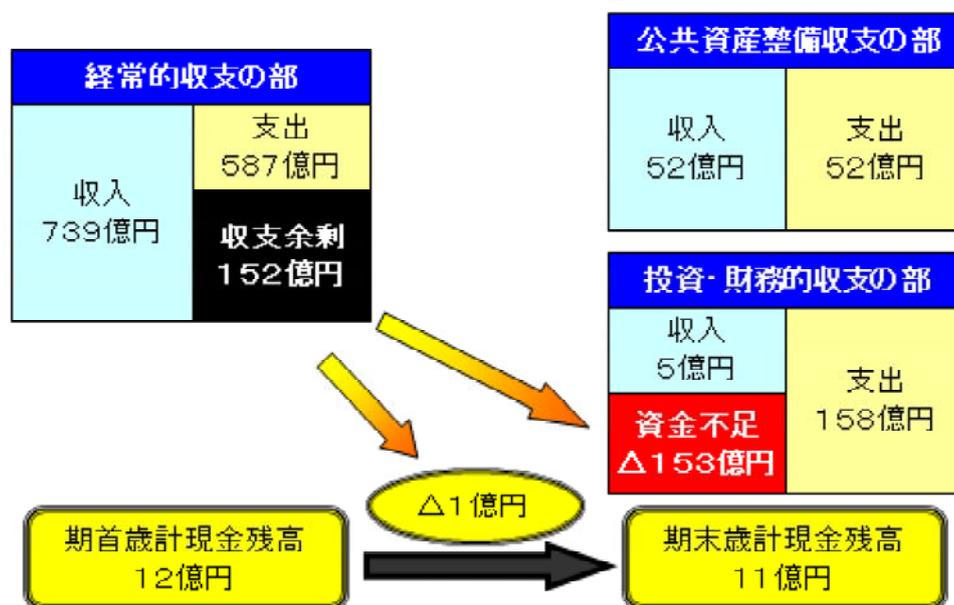
貸付金回収額や公共資産等売却収入などで5億円となっています。

この結果、153億円のマイナスとなっていますが、この不足額は、経常的収支額により賄われたこととなります。

《期末歳計現金残高》

当年度歳計現金増減額は1億円の減となり、期首歳計現金残高12億円から減少した結果、期末歳計現金残高は11億円となりました。

なお、この期末歳計現金残高11億円は貸借対照表の歳計現金と一致します。



市民1人あたりの資金収支計算書

経常的収支の部	
支出	21万7千円
収入	27万3千円
経常的収支額	5万6千円
公共資産整備収支の部	
支出	1万9千円
収入	1万9千円
公共資産整備収支額	0円
投資・財務的収支の部	
支出	5万8千円
収入	2千円
投資・財務的収支額	5万6千円

当年度歳計現金増減額	0円
期首歳計現金残高	4千円
期末歳計現金残高	4千円

平成22年3月末住民基本台帳人口 270,965人

基礎的財政収支（プライマリーバランス）に関する情報

基礎的財政収支（プライマリーバランス）とは、市債（借金）に頼らず税金などで賄われているかを表すものです。

算定の方法は、収入総額から市債発行額と財政調整基金取崩額を引いたものから、歳出総額から市債元利償還額と財政調整期金積立額を引いたものの差引額となります。

本市の基礎的財政収支額は1億円のプラスとなりました。